

ダイバーシティ

—多様性の尊重—

日本道路マレーシア

日本道路・マレーシアは1989年に設立され、来年には30周年を迎えます。

発展著しいマレーシアではこれまで数々の大型プロジェクトが発注され、当社も国を縦断する南北高速道路、ジャングルを走る国道の改良や国産車試験路などを受注し、事業規模を拡大してきました。近代化の進む中、当社の業容もメンテナンスや特殊技術を要する工事へと軸足を移行しています。今後とも我が社の技術とハートでインフラ整備を通じて社会に貢献してまいります。

全職員は44名でそのうち現地職員41名はマレーシア国民ですが、内訳はマレー系19名、中国系12名、インド系10名と異なる民族の集合体となっています。ここでは互いの宗教・文化を尊重し、違いを受け入れながら、ひとつにまとまって共栄を図っています。

また、当社では女性社員の割合が27%(11名)と高く、管理職や現場技術者として活躍しています。海外拠点での組織作りは、日本人も含めた民族や性別の隔たりなく、多様性を認め合い、それぞれの考え方を尊重することにより、革新的なアイデアや問題解決策が生まれ、顧客の多様化するニーズに応えられるように企業の競争力を向上させることが重要と考えています。



日本道路マレーシア
社長 笹村 守幸



茨城大学を卒業後、1994年に東京支店で1年間勤務した後、マレーシアに配属されました。日本での経験を活かし、マレーシアには無い特殊技術を提案しています。

工事部副部長 クアン

[工事部]

上段左から 山内仁志、ウィルダン、パティブン
下段左から クアン、篠原哲雄



営業部は3人です。全て女性で家族を持っています。子供が急に発熱した時などは、皆で協力してカバーをするようにしています。仕事を円滑に進めるために「風通しの良い職場」を心がけています。

営業部長 モリア

[営業部]

左から ジニ、モリアティ、ナジハ



経理部はルールに則った適正な会計処理を、総務・人事部は社員全員が働きやすい環境づくりに努めています。

総務部長 トリシア

[総務部]

上段左から シャリーン、ファラ、シキン、エンジ
下段中央 トリシア



クアラルンプール国際空港第二ターミナル
舗装及びメンテ工事



2018年ファミリーデー